



HINO TEAM SUGAWARA

Dakar Rally 2020

クラス11連覇!!

Challenge & Result

■ ダカール・ラリー2020 クラス11連覇達成!! ～29回連続完走と、トラック部門総合でも4年連続トップ10入り～

2020年1月5日～17日、サウジアラビアに舞台を移して初開催されたダカール・ラリー2020のトラック部門に、「日野チームスガワラ（代表：菅原照仁氏）」として1号車の菅原照仁／染宮弘和／望月裕司組（日野レンジャー/HINO500シリーズ）、2号車の塙郁夫／塙雄大／毛塚麻由美（北米専用車/HINO600シリーズ）2台で参戦した。

1号車は、同部門の排気量10リットル未満クラスで優勝し、チーム史上最多となるクラス11連覇を達成。また、排気量10リットル超の大型トラックが上位を占めるトラック部門総合でも10位を勝ち取り、4年連続でのトップ10入りも成し遂げた。さらに今大会では、日野が1991年に日本の商用車メーカーとして初めて同ラリーに参戦以来の連続29回完走も達成した。

日野技術陣が製作・改良を加えてきたレーシングトラック、菅原照仁氏のドライビングテクニック・豊富なラリー経験とナビゲーター・メカニック・サポートメンバーを含めた「日野チームスガワラ」の鉄壁のチームワーク、さらに現地日野車販売代理店Tsusho Jamjoom Trading Companyをはじめとする関係者の全面的なバックアップなど、総力を結集して今回の記録更新を果たすことができた。

■ ダカール・ラリーとは

2週間をかけて約1万キロにわたる砂漠や砂丘、土漠、荒野などの道なき道を走り続け、総合タイムを競う。完走率が5割に満たない大会も珍しくなく、「世界一過酷なラリー」と言われている。

Dakar Rally 2020



1月4日 スタートセレモニー

ダカール・ラリー2020のスタート地であるジェッダ市内で、スタートセレモニーが実施された。

お馴染みの日野レンジャー（1号車）に加え、ボンネットキャブの新型車両（2号車）は、関係者の注目を集めた。

1月5日 ステージ1

ジェッダ〜アルワジュ（Jeddah ~ Al Wajh）

2台の車両は順調な滑りだし。

1号車・2号車は、排気量10リットル未満クラスを1位・2位を獲得。

1月6日 ステージ2

アルワジュ〜ネオム（Al Wajh ~ Neom）

多彩に変化する山間コースを、1号車は総合15位でクリア。

2号車は、SS（競技区間）走行中に車両のリアボディが破損するアクシデントに見舞われコース上でストップ。

1月7日 ステージ3

ネオム〜ネオム（Neom ~ Neom）

ネオムを起点に、今大会初のループコースが実施。

1号車は負荷を避けるためペースを抑えて走行したが、総合13位に順位を上げた。2号車は競技には参加せず、車両の修復に専念し復帰を目指す。



1月9日

1月8日 ステージ4

ネオム〜アルウラ (Neom ~ Al Ula)

1号車は、フェシュフェシュ（パウダー状の細かい砂が堆積した地面）と石のステージを総合12位でクリア、我慢の一日となった。
2号車は競技の順位は付かない賞典外としてコースに復帰。

1月9日 ステージ5

アルウラ〜ハイル (Al Ula ~ Ha'il)

本格的な砂丘ステージに突入。
1号車は高い機動力を発揮し総合12位でゴール。2号車もノートラブル・ノームスでクリア。



1月11日

1月10日 ステージ6

ハイル〜リヤド (Ha'il ~ Riyadh)

1号車は排気ガスが漏れるトラブルに見舞われたが、走り方を工夫しながら順位を上げ、総合11位で前半戦を折り返した。
2号車も順調な走りを見せ、無事リヤドに到着した。

1月11日 休息日

さらなる順位浮上を目指し、車両の点検整備を実施。
完全にリフレッシュした車両は、後半戦に向けて万全の態勢を整えた。

Dakar Rally 2020



1月12日~1月17日



1月12日

1月12日 ステージ7

リヤド～ワジ・アル・ダワシル (Riyadh ~ Wadi Al-Dawasir)

首都リヤドの南部に広がる砂漠地帯で564kmのコース。

1号車は整備の甲斐もあり快調にゴール。総合順位を一つ上げ10位に浮上。2号車は270km地点を走行中に砂丘の斜面で転倒したが、ダメージは最小限で無事ゴール。

1月13日 ステージ8

ワジ・アル・ダワシル～ワジ・アル・ダワシル (Wadi Al-Dawasir ~ Wadi Al-Dawasir)

1号車は、スタックを招きやすい砂の柔らかい砂丘を、トラブルもなく大型の上位勢に分け入る総合7位でゴール。

前日のSS中に転倒を喫した2号車も修復され、問題なくゴールした。

1月14日 ステージ9

ワジ・アル・ダワシル～ハラド (Wadi Al-Dawasir ~ Haradh)

賞典外の「ダカールエクスペリエンス」制度で走行を続けていた2号車は、ロールバーのひび割れが見つかり、安全のためハラド到着時点でリタイアを決断。1号車は、移動距離が本大会最長の891kmと長丁場のステージを大事に走ることを選択し、SS総合16位でゴールした。



1月16日

1月15日 ステージ10

ハラド～シュバイタ (Haradh ~ Shubaytah)

最後の山場となった、ハラドからシュバイタまでを往復するアシスタンス車両のサポートが受けられないマラソンステージ。SS(競技区間)が悪天候により短縮される中、1号車は14位でゴール。乗員3名は、翌日に備えて入念な点検を行った。

1月16日 ステージ11

シュバイタ～ハラド (Shubaytah ~ Haradh)

マラソンステージ後半、1号車は厳しい砂丘が延々と続く難所を13位と健闘。部門総合10位を堅持した。



1月17日

1月17日 ステージ12/ゴールセレモニー

ハラド～キッドィヤ (Haradh ~ Qiddiya)

ダカール・ラリー2020最終ステージを総合15位でフィニッシュ。これにより、トラック部門総合10位、排気量10リットル未満クラス1位を獲得。

キッドィヤにて実施されたゴールセレモニーでは、壇上でトロフィーを受け取り、観客の歓声に手を振って応えた。

2週間にわたるダカール・ラリー2020が閉幕した。

Driver & Navigator CAR. 1



菅原 照仁 すがわら てるひと

チーム代表 兼 1号車ドライバー
日本レーシングマネジメント(株) 代表取締役

サウジアラビアで初開催だったが、予想していたよりもコース難易度が低く、中型車で大型車に挑んでいる我々にとってはチャンスが少なかったと感じています。その中でもしっかり走り切り、総合トップ10入り、クラス連覇も果たせたので良かった。

今回から乗員を1人増やし3人乗車体制にしたが、まず、ナビゲーションの目が増えたことで、ドライバーとしては助かった。また、タイヤのバンク対応に従来は20分程かかっていたが、今回は3人で対応できるようになったため、半分ほどで済んだ点も大きなプラス要素でした。



そめみや ひろかず 染宮 弘和

1号車ナビゲーター
ラリーストリーム(株) 代表取締役

チームの勝利に貢献出来たことが本当に嬉しい。サウジアラビア開催ということで、砂丘だけかと思っていたら岩場・山・荒地など様々なバリエーションがあり本当にタフなレースでした。チーム内だけでなく、現地関係者の方々のサポートがしっかりしていたお陰で何とか走り切ることができ、皆さんに感謝しています。



もちづき ゆうじ 望月 裕司

1号車ナビゲーター
日野自動車(株)

チーム一丸となって得られた結果で、とても満足しています。前はメカニックとして参戦し、今回はナビゲーターとして参戦しました。また別の過酷さがありましたが、終わってみれば寂しさも感じます。私は、実は23年ぶりの日野社員ナビでして、このようなチャレンジできる場を与えていただき、感謝しています。



■ 塙 郁夫 はなわ いくお

2号車ドライバー

サミットレーシングプロモーションズ代表

2号車は今回新たに開発した車両。試行錯誤やトラブルはつきもので、走ってみないとわからないことも多いです。初めてのトラックでのラリー参戦で、走るのがだんだんと面白くなってきたところでリタイア。とても残念でしたが、本当に良い経験をさせてもらいました。



はなわ ゆうだい 塙 雄大

2号車ナビゲーター

サミットレーシングプロモーションズ

初めての車で初めてのダカール・ラリー。リタイアは残念でしたが、いろいろな道を楽しみながら走ることができたので良かったです。



けづか まゆみ 毛塚 麻由美

2号車ナビゲーター

日本レーシングマネージメント(株)

これまでサポートメンバーとして、今回はナビゲーターとしてダカール・ラリーに初挑戦しました。リタイアはとても悔しかったですが、車両の課題もつかめましたし、良い経験をすることができました。

Mechanics



ながた やすのり
永田 康宣

東北海道日野自動車(株)

2号車を完走させられなくて残念です。前半戦は覆られなくて辛かったですけどだんだんと要領をつかんで後半は余裕が出来ました。良いチームワークで仕事が出来たと思っています。



わたなべ やすふみ
渡邊 恭史

東京日野自動車(株)

2号車が完走出来なかったのは残念の一言。ロールバーのひび割れが原因でしたが、それ以外には車両に問題がなかっただけになおさら悔しいです。



わたなべ けいすけ
渡邊 啓介

群馬日野自動車(株)

思っていた以上に一筋縄ではいかない、簡単なラリーではないことを痛感しました。2号車のリタイヤは残念でしたが、1号車をみんなでゴールポディアムに乗せられて嬉しいです。



ほしじま こういちろう
星島 宏一郎

岡山日野自動車(株)

辛かったのは前半戦。中盤ぐらいから体も馴染んできましたが、想像よりもしんどかった。でも現場は楽しかったです。



すずき せいいち
鈴木 誠一

日本レーシングマネジメント(株)
サウジアラビアで初開催となりましたが、
南米に開催地が移った当初に比べると
トラブルは少なかったと思います。



たかすぎ けんご
高杉 健吾

Ken.Factory
2号車のリタイヤは残念でした。
いくつかのトラブルはチームの力で解決し
ていただけに残念でした。



よしかわ こうじ
良川 幸司

日本レーシングマネジメント(株)
とても厳しい環境の中、前半から後半に
かけてどんどんチームワークが良くなって
いった事を体感できました。2号車は残
念でしたが、皆で掴んだ1号車の完走。
ホッとしました。

Mechanics



せいの こうき
清野 幸記

日野自動車(株)

私にとっては約20年ぶりのダカール・ラリーでしたが、現場はやっぱり大変。最後まで何があるか分からないので心配でした。でもメカニック全員が自分の役割を果たしたことでここまで来ることが出来たと思います。



きたがわ しんじ
北川 親二

日野自動車(株)

1号車が無事完走出来て良かった。皆でギリギリでやってきて、なんとか乗り切れたという気持ちです。前回ダカール・ラリーでメカニックだった望月さんが、今回1号車にナビゲーターとして乗車していたのですが、彼の存在も心強く感じました。



にしやま まさたか
西山 雅貴

日野自動車(株)

2号車のリタイヤは残念でしたが、1号車が無事にゴールできましたし、正直ほっとしています。自分としてできることはやり切ったつもりです。



いしい りょう
石井 僚

日野自動車(株)

世界一過酷と言われるだけのラリーだと思えました。正直疲れはしましたが達成感は大きい。この経験を活かし、今後も頑張りたいです。

Support Members



日野チームスガワラのサポートメンバーは、ドライバーとナビゲーターのサポートをはじめ、ビバークでのキャンプ地設営、ダカール・ラリー主催者との連携、チームの食事など、その業務は多岐に渡り、チームにとって欠かせない存在となっている。



あんど う る み
安藤 瑠美

日本レーシングマネジメント(株)



こんない しゅん
近内 舜

日本レーシングマネジメント(株)



かめだ つぎお
亀田 次男

日野自動車(株)



なかつか なおと
中塚 直人

中東日野



いしだ かずき
石田 一輝

日野自動車(株)

Engineer



ながくぼ けんじ
長久保 賢次

技術開発本部 副本部長
ダカール・ラリー技術担当役員

ダカール・ラリー参戦車の開発を統括。
日野自動車がダカール・ラリーに参戦する意義として、“関わった人すべてが大いに学び、成長し「もっといいトラックづくり」に生かす”ことを掲げ、社内メンバーに挑戦を促す。



えのもと みつる
榎本 満

車両企画部
ダカール・チャレンジグループ

日野自動車の開発メンバー約70人が関わるダカール・ラリープロジェクトを率いるプロジェクトチーフエンジニア。レーシングトラックに特化した技術への挑戦を続ける。

日野の戦歴 1991-2020

詳細は公式サイトをご覧ください

www.hino.co.jp/dakar/



大会年	走行回数	コース(国名) 成績(トラック部門総合・排気量10リットル未満クラス)
2020	29	ジェッダ(KSA)～リヤド(KSA)～キッディヤ(KSA) 1号車:10位・優勝 / 2号車:規定により失格
2019	28	リマ(PER)～アレキバ(PER)～リマ(PER) 1号車:規定により失格 / 2号車:9位・優勝(クラス10連覇)
2018	27	リマ(PER)～ラバス(BOL)～コルドバ(ARG) 1号車:規定により失格 / 2号車:6位・優勝
2017	26	アスンシオン(PRY)～ラバス(BOL)～ブエノスアイレス(ARG) 1号車:29位・2位 / 2号車:8位・優勝
2016	25	ブエノスアイレス(ARG)～ウユニ(BOL)～ロサリオ(ARG) 1号車:31位・2位 / 2号車:13位・優勝
2015	24	ブエノスアイレス(ARG)～イキケ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG) 1号車:32位・2位 / 2号車:16位・優勝
2014	23	ロサリオ(ARG)～サルタ(ARG)～バルバライソ(CHL) 1号車:32位・2位 / 2号車:12位・優勝
2013	22	リマ(PER)～トゥクマン(ARG)～サンティアゴ(CHL) 1号車:31位・4位 / 2号車:19位・優勝
2012	21	マル・デル・プラタ(ARG)～コピアポ(CHL)～リマ(PER) 1号車:24位・3位 / 2号車:9位・優勝
2011	20	ブエノスアイレス(ARG)～アリカ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG) 1号車:13位・2位 / 2号車:9位・優勝
2010	19	ブエノスアイレス(ARG)～アントファガスタ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG) 1号車:規定により失格 / 2号車:7位・優勝
2009	18	ブエノスアイレス(ARG)～バルバライソ(CHL)～ブエノスアイレス(ARG) 1号車:26位・6位 / 2号車:14位・2位
2008	—	大会中止
2007	17	リスボン(POR)～ダカール(SEN) 1号車:13位・2位 / 2号車:9位・優勝
2006	16	リスボン(POR)～ダカール(SEN) 1号車:5位 / 2号車:7位・クラス別なし

大会年	走行回数	コース(国名) 成績(トラック部門総合・排気量10リットル未満クラス)
2005	15	バルセロナ(ESP)～ダカール(SEN) 1号車:2位・優勝 / 2号車:6位・3位
2004	14	クレルモンフェラン(FRA)～ダカール(SEN) 1号車:5位・クラス別なし
2003	13	マルセイユ(FRA)～シャルムエルシェイク(EGY) 1号車:5位・クラス別なし
2002	12	アラス(FRA)～マドリッド(ESP)～ダカール(SEN) 1号車:3位・優勝(クラス7連覇)
2001	11	パリ(FRA)～ダカール(SEN) 1号車:2位・優勝
2000	10	パリ(FRA)～ダカール(SEN)～カイロ(EGY) 1号車:5位・優勝
1999	9	グラナダ(ESP)～ダカール(SEN) 1号車:4位・優勝
1998	8	パリ(FRA)～グラナダ(ESP)～ダカール(SEN) 1号車:2位・優勝
1997	7	ダカール(SEN)～アガデス(NIG)～ダカール(SEN) 1号車:2位・2位 / 2号車:優勝・優勝 / 3号車:3位・3位(トラック部門史上初1～3位制覇)
1996	6	グラナダ(ESP)～ダカール(SEN) 1号車:6位・優勝 / 2号車:11位・2位
1995	5	グラナダ(ESP)～ダカール(SEN) 1号車:2位・クラス別なし
1994	4	パリ(FRA)～ダカール(SEN)～パリ(FRA) 1号車:2位・クラス別なし
1993	3	パリ(FRA)～タンジェ(MA)～ダカール(SEN) 1号車:6位・クラス別なし
1992	2	パリ(FRA)～シルト(LAR)～ル・カップ(RSA) 1号車:5位 / 2号車:4位 / 3号車:10位 / 4号車:6位・クラス別なし
1991	1	パリ(FRA)～トリポリ(LAR)～ダカール(SEN) 1号車:7位 / 2号車:負傷により棄権 / 3号車:10位 / 4号車:14位・クラス別なし (日本のトラックメーカーとして初参戦)

国名略号: ARG=アルゼンチン、BOL=ボリビア、CHL=チリ、EGY=エジプト、ESP=スペイン、FRA=フランス、KSA=サウジアラビア、LAR=リビア、MA=モロッコ、NIG=ニジェール、PER=ペルー、POR=ポルトガル、PRY=パラグアイ、RSA=南アフリカ、SEN=セネガル

日野チームスガワラの活動をご支援いただいているスポンサー企業の皆様

ご支援・ご声援 ありがとうございます

東京濾器株式会社

株式会社タチエス

株式会社キャタラー

国分グループ本社株式会社

出光興産株式会社

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

株式会社デンソー

日本ピストンリング株式会社

千代田運輸株式会社

理研鍛造株式会社

タイヤ運輸株式会社

株式会社日立ハイテクノロジーズ

株式会社小糸製作所

NOK 株式会社

ワプコジャパン株式会社

豊田通商株式会社

コベルコ建機株式会社

川崎汽船株式会社

岡本物流株式会社

日本発条株式会社

丸紅株式会社

株式会社武部鉄工所

株式会社シマブンコーポレーション

株式会社メイドー

株式会社東郷製作所

日野トレーディング株式会社

株式会社三五

日野リトラックス株式会社

ナフテスコオートモーティブ株式会社

ナフテスコ株式会社

株式会社ソーシン

株式会社トランテックス

クオリカ株式会社

東洋鍛工株式会社

デーナ・ジャパン株式会社

Hino Motors Sales U.S.A., Inc.

坪井特殊車体株式会社

東京日野自動車株式会社

TOYOSA S.A.

三共ラチエーター株式会社

エフ・イー・ヴィ・ジャパン株式会社

福島製鋼株式会社

アイシン精機株式会社

株式会社ジェイテクト

澤藤電機株式会社

株式会社日野エンジニアリングアネックス

ジェイ・バス株式会社

カスヤ精工株式会社

濱坂電機株式会社

トヨタ T&S 建設株式会社

株式会社ユーネットランス

株式会社アドヴィックス

三井精機工業株式会社

日本イトン合同会社

株式会社マブチ

株式会社ルミナス

青伸産業運輸株式会社

株式会社杉浦製作所

株式会社エイチワン

株式会社青山製作所

株式会社大安工業所

トビー工業株式会社

埼玉機器株式会社

トヨタホーム株式会社

TB ユニファッション株式会社

日清紡ブレーキ株式会社

日野テクニカルサービス株式会社

株式会社日野ヒューテック

株式会社アクト

Hino Motor Sales Australia Pty Ltd

PT HINO MOTORS SALES INDONESIA

アリソンジャパン株式会社

豊田合成株式会社

日本ミシュランタイヤ株式会社

株式会社ヨシムラジャパン

エディハド航空

日軽金アクト株式会社

住鋤潤滑剤株式会社

株式会社 GS ユアサ

第一プレス工業株式会社

株式会社エンドレスプロジェクト

株式会社スリーボンド

株式会社ノルトロックジャパン

TONE 株式会社

株式会社アライヘルメット

株式会社ケテル

株式会社アイ・アール・エス

株式会社日本ヴェーテック

リンテック株式会社

イワタフクソー株式会社

株式会社オレンジジャパン

山本光学株式会社

株式会社日本デジコム

株式会社セイコーステラ

株式会社 FNC

プリンテック株式会社

株式会社モンベル

株式会社丸紅フットウェア

坂口電機工業株式会社

日本ドナルドソン株式会社

株式会社ハイレックスコーポレーション

HINO TEAM SUGAWARA